参考資料－１

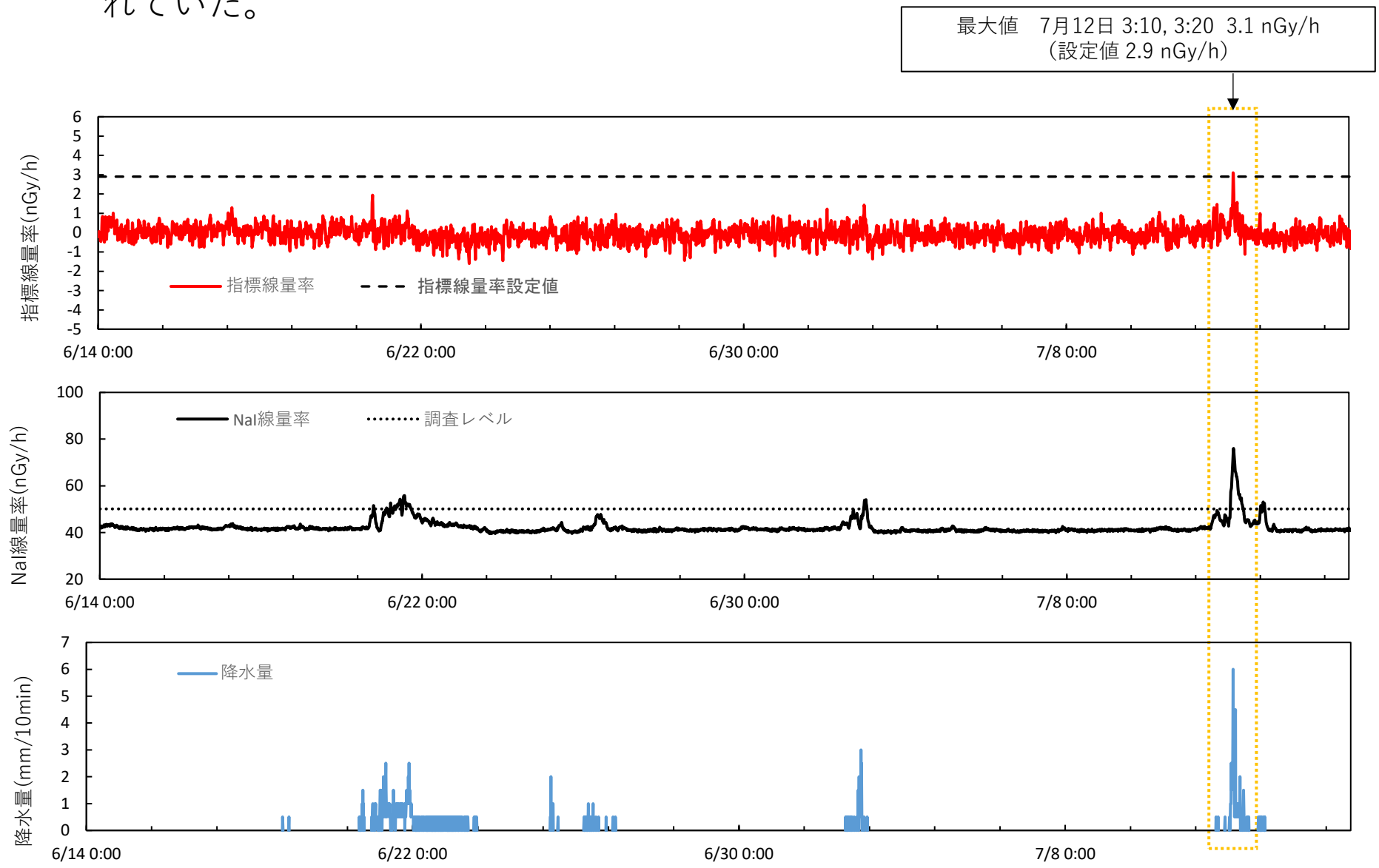
第178回女川原子力発電所環境調査測定技術会資料

モニタリングステーション飯子浜局等における指標線量率設定値の超過について

令和８年１１月４日
宮城県環境放射線監視センター

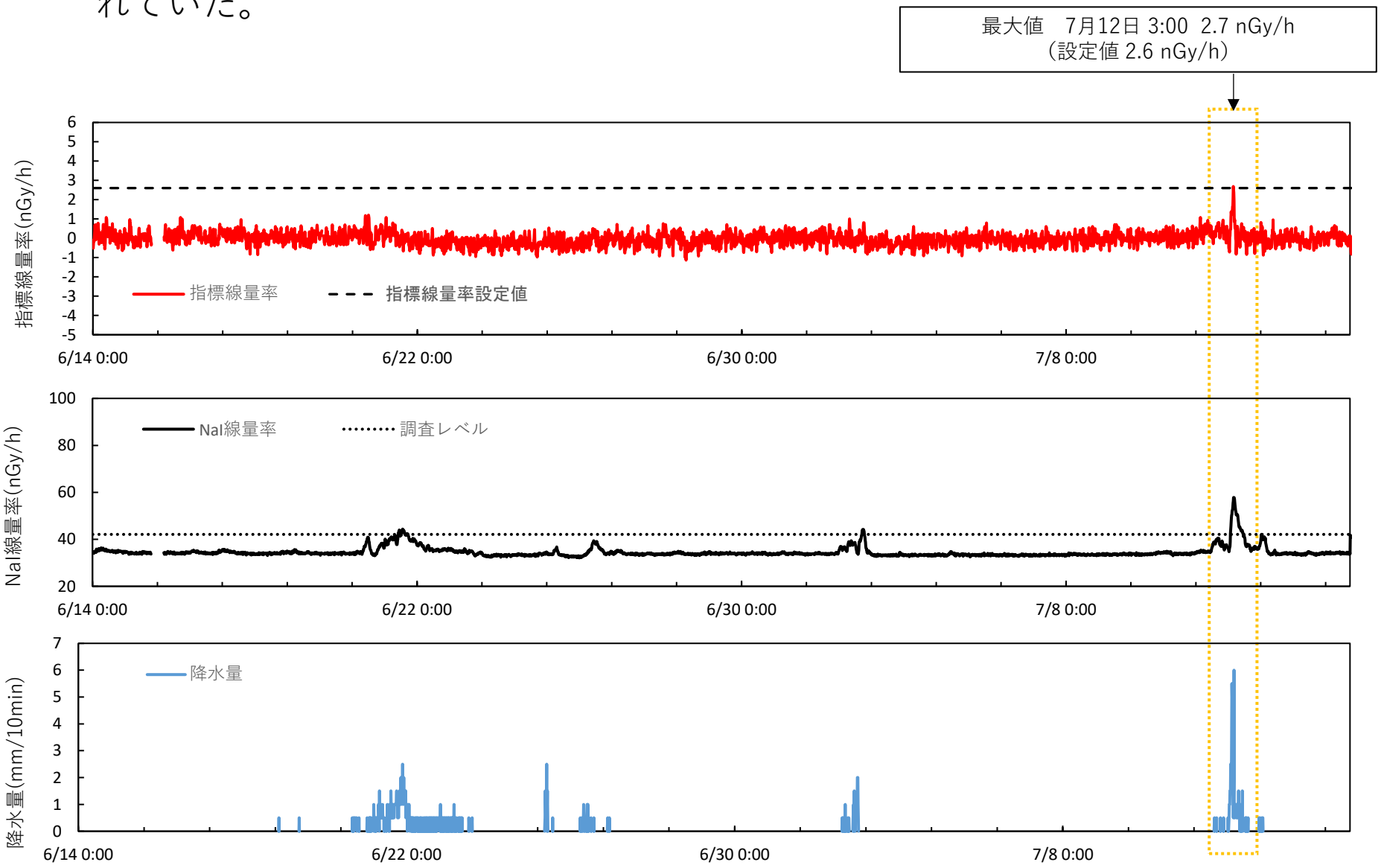
１－１　飯子浜局における指標線量率、空間ガンマ線量率及び降水量

・　令和８年７月１２日に指標線量率が設定値を超過した時刻には、降水が観測されていた。



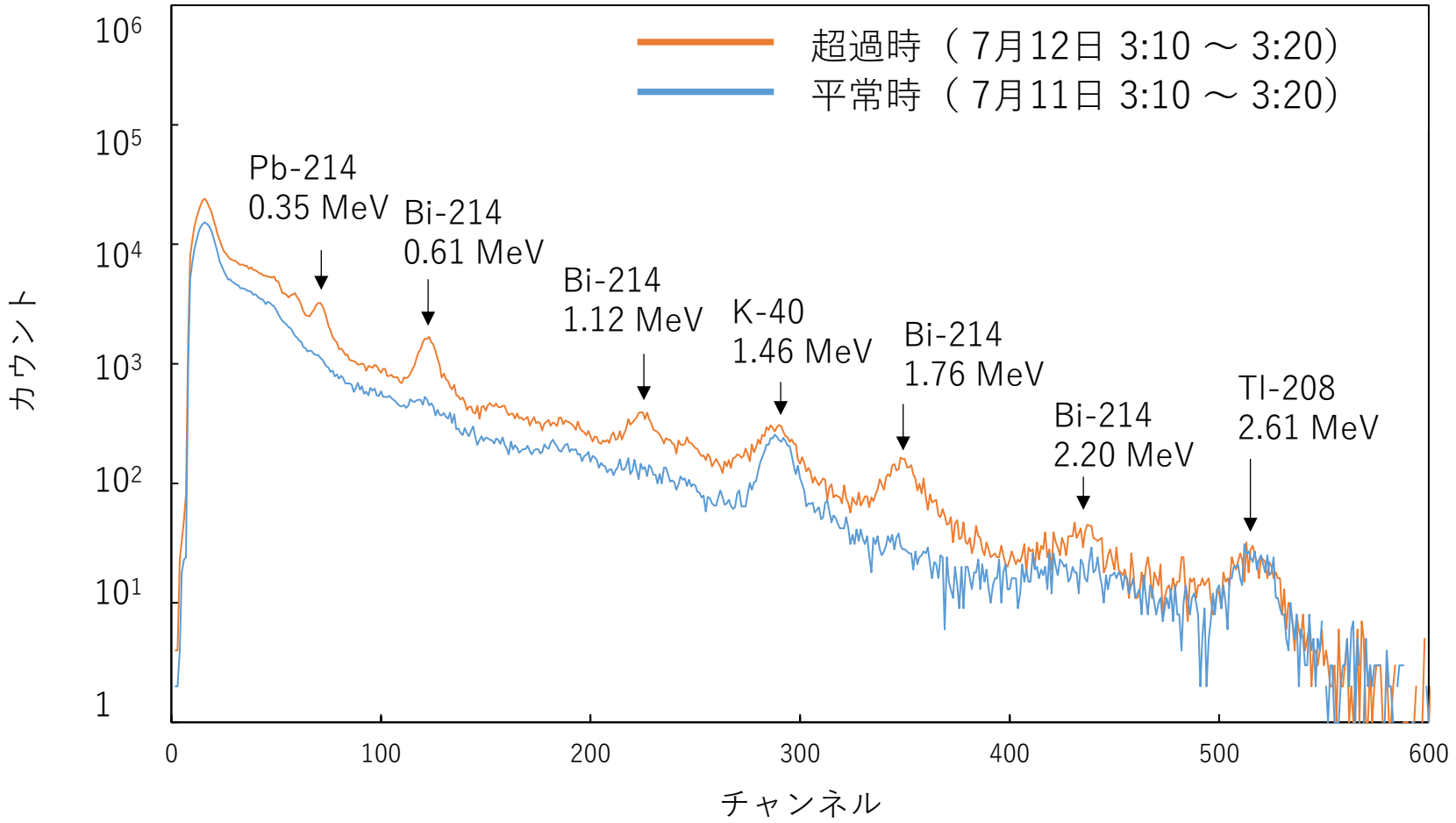
１－２　寄磯局における指標線量率、空間ガンマ線量率及び降水量

・　令和８年７月１２日に指標線量率が設定値を超過した時刻には、降水が観測されていた。



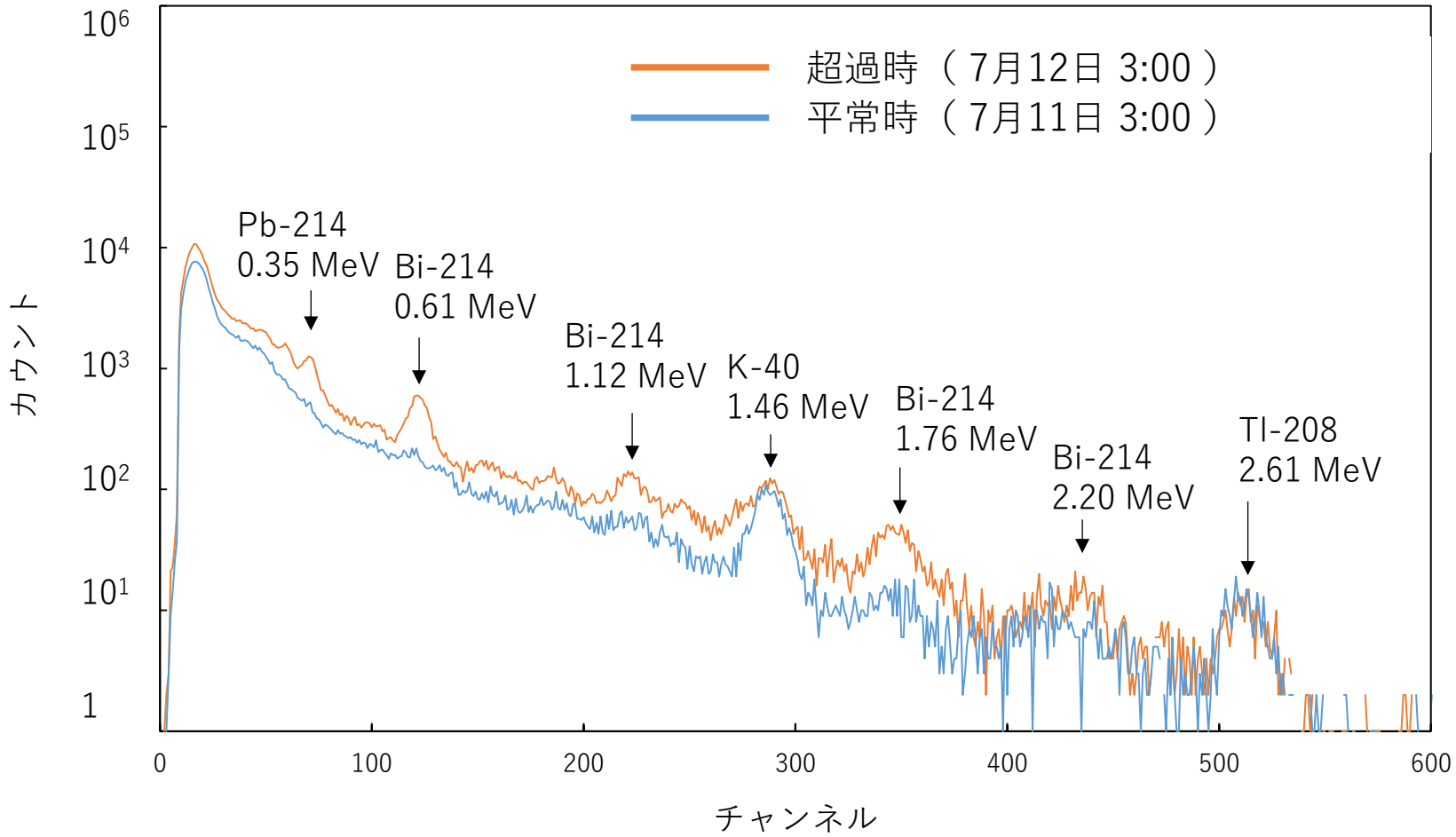
２－１　飯子浜局における降水時のスペクトルデータ

- 飯子浜局において、指標線量率が設定値を超過した際のスペクトル（NaI(Tl)検出器）から、人工放射性核種の影響はなく、天然放射性核種の上昇が確認された。
- なお、設定値超過時刻付近の排気筒モニタ等に有意な上昇はなかった。



２－２　寄磯局における降水時のスペクトルデータ

- 寄磯局において、指標線量率が設定値を超過した際のスペクトル（NaI(Tl)検出器）から、人工放射性核種の影響はなく、天然放射性核種の上昇が確認された。
- なお、設定値超過時刻付近の排気筒モニタ等に有意な上昇はなかった。

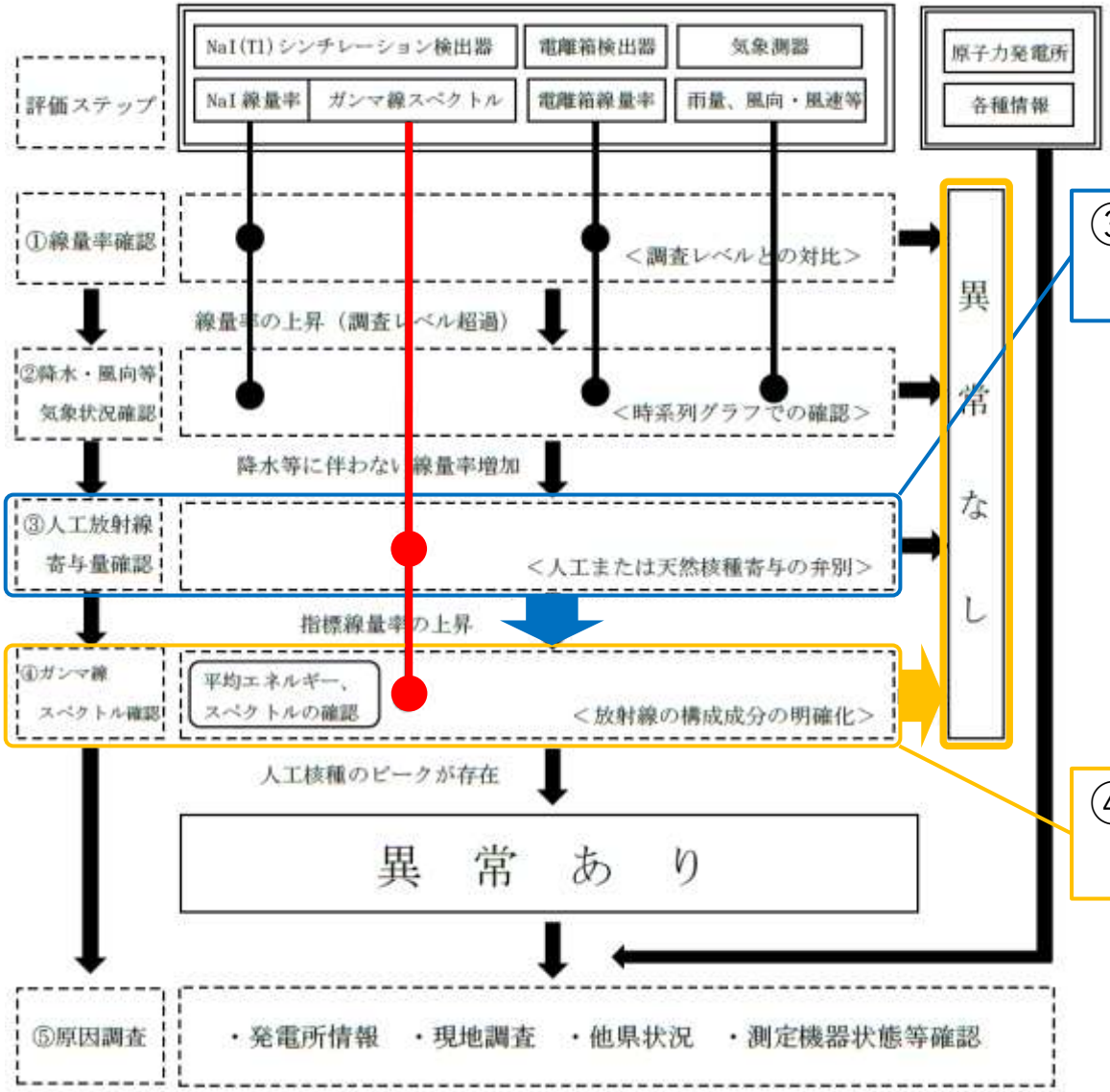


まとめ

- 令和８年７月１２日にモニタリングステーション飯子浜局及び寄磯局において、降雨時に指標線量率設定値を超過した。
- 指標線量率が設定値を超過した際のスペクトル（NaI(Tl)検出器）を確認した結果、人工放射性核種の影響はなかった。

（参考）空間ガンマ線量率の評価方法

・　本技術会資料－１－３　P.15に記載のとおり、空間ガンマ線量率の評価は以下の流れで実施する。



③指標線量率
→２～３ページで説明

④スペクトル
→４～５ページで説明